



# ふれあい看護体験を開催しました

平成25年8月7日、当院でふれあい看護体験が行われました。ふれあい看護体験とは看護の日※の記念行事として行われているイベントです。栃木県内では各地の医療施設毎に日程を組んで行われております。

当院のふれあい看護体験は、高校生を対象としており、今回は県内の高校生37名が参加されました。この体験を通し、看護師という職業への関心や理解がより一層深まったようです。また、終始和やかな雰囲気、患者さまや看護師との「ふれあい」を通じて、色々と話を聞くこともできましたよつです。

今回参加された学生のみなさんはもともと看護師や医療分野に興味のある方々でした。未来の看護師を目指して、患者さまと一緒に支える仲間となつてほしいなよつとかな。

※看護の日とは…国民の間に看護の心、助け合いの心が育つようにと制定されました。近代看護を築いたナイチンゲールの誕生日にちなみ5月12日に制定され、「看護の心をみんなの心」をメインテーマに、全国各地でさまざまなイベントが行われます。



↑車いすでの移動体験



↑患者さまの体位交換



↑全員に辞令が交付されました



足浴を行ったり→  
体を拭いたり  
患者さまのケアを体験



↑薬の準備

## ふれあい看護体験に参加して ~参加者の感想~

患者さんのシャンプーやシーツ交換では、患者さんに「ありがとう」と感謝の声をかけられ、看護に対するやりがいを感じました。

患者さんの体を拭いたり、着替えの手伝いをするとき、声をかけながら行っていたのですが、患者さんもそれに答えてくれて、直接人との関わりをもてる仕事っていいなと思いました。

今までに一度も入院したことがなく、不安を抱えていた患者さんとお話したとき、「最初は不安だったけど、夜勤の看護師の方がとても親切にしてくれて本当に助かった」と言っていました。看護師という仕事は、患者さんに注射をしたりするだけでなく、患者さんとコミュニケーションをとるのも必要なんだと思いました。

どの看護師さんも患者さんのそばにいるときは必ず話しかけていること、そしてお話しているときは常に笑顔でいることがわかりました。このようなことが患者さんの不安を取り除くのだと思います。

これからもっと勉強をして、看護学校へ入学し、絶対看護師になります！